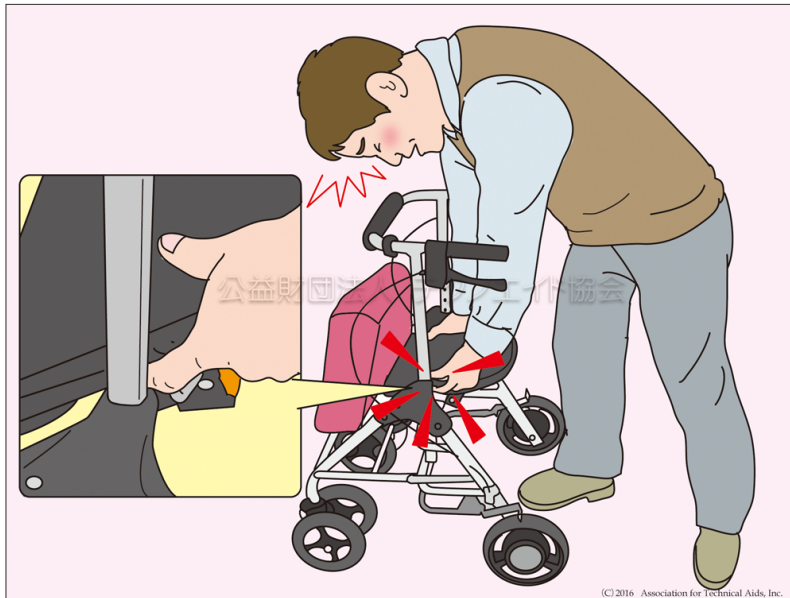


Case : 315

座面高さ調整時に、フレームの隙間に指を挟みそうになる

場面の説明

歩行器の座面の高さを調整しようとして、指を挟みそうになった



利用シーン

移動

主な利用場所

その他

介護保険の種目

歩行器

分類コード (CCTA95) 120606 (歩行車)

介護テクノロジー

-

二次元バーコード



解説

歩行器の座面を調整する際の指の持って行き方が悪く、挟みそうになった事例です。
歩行器の構造や機構によるところが多く、説明書通りの調整方法で行えば危険は少なくなります。
ただし、実際には説明書を見ずに使われることが少なくなく、メーカーレベルでの工夫も求められます。

参考要因

人：説明書にある安全な調整方法を知らないで我流でやろうとした
モノ：指を挟み込みやすい構造や機構だった
環境：十分な明るさがなく、細部が見えにくかった
管理：メーカーからの注意喚起が不足していた